

8/33, 74

馬場氏不見識極まる

「朝日」は2日の社説「民主主義の壊滅論」で、「日本維新の会」の馬場伸洋代表が日本共産党を「なくした」から「政治」と結婚したじいを取り上げ、「物議をかもす表現」を使いつけて注目を集めようとしている。このあたり、不見識さがわざわざ強調される。

説は、「多様な価値観と利害を前提に、話し合いで合意形成をめざす民主政治の基礎を掘り崩しかねない」と警体と共に産党が指定されていぬことあげ、「普通の政党ではなく」と攻撃したことにつけて、「共産党は『議会の

ある」と批評しました。回紙は、「田辺の存在を認め合ったうえで議論を戦わせる」のが「田辺主義の基本である」と述べ、強いて書籍で説明を省略する旨安調査官の調査対象が公

多数を得て社会改革を
進める』と、繰り返し
公言している。しかし、
これが何を意味するか。